

～3月24日は世界結核デー～

結核ってどんな病気？



多摩府中保健所
結核対策イメージキャラクター
「肺えもん」

●結核ってなに？

結核とは結核菌による感染症です。

2020年は、東京都では約1500人、

多摩府中保健所管内では約80人の報告がありました。

結核は高齢者に多い感染症ですが、誰でもかかる可能性があり、薬を服用することで治る病気です。

新登録結核患者数（多摩府中保健所）



●どうやって感染するの？

結核菌は、比較的弱い菌で、屋内では空气中を漂いますが、紫外線にあたるとすぐに死んでしまう菌です。

患者が咳やくしゃみをした時に、菌が空气中に飛び散り、それを周囲の人が吸い込むことで感染します。（空気感染）

乳幼児が感染すると重症化（結核性髄膜炎、粟粒結核等）することもあり、重症化を予防するためにBCGの予防接種が有効です。



●どんな症状ができるの？

結核菌が体内に入り、肺などで増殖すると、このような症状を引き起こします。



せき・たん



微熱



食欲低下・体重減少



倦怠感

結核は早期発見、早期治療をすることで重症化や周囲への感染を防ぐことができます。

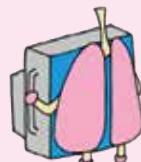
●早期発見のポイント

★上記の症状が2週間ほど続く場合、医療機関を受診しましょう

★年1回は胸部エックス線検査を受けましょう

定期的に胸部エックス線検査を受けることで、症状がない段階の結核を発見できます。

市民健診や職場健診等を活用して、年1回は検査を受けましょう。



詳しくは 多摩府中保健所 結核 で 検索

【この記事に関するお問合せ】保健対策課 感染症対策担当

